

輸出量世界一のケニア産茶の品質向上を目指し

静岡のお茶の機械製造企業がケニアへ

独立行政法人国際協力機構(JICA)は6月30日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において落合刃物工業株式会社(代表企業)(静岡県菊川市、落合益尚代表取締役)が提案する「現地茶葉価格競争力向上支援事業」(ケニア)を採択しました。

輸出量世界一を誇るケニア産茶ですが、茶生産の約60%が小規模農民によって行われています。近年は、ケニア産茶葉の価格低下、売り上げ低迷が続いており、小規模茶葉農民の収入向上が課題となっています。茶葉の品質を損なうことなく収穫が可能な「茶摘み機」、紅茶に加えて緑茶・ウーロン茶などの多品目の製茶が可能な「荒茶製造ライン」、及び日本独自技術である高い付加価値をつける「仕上げ機」の導入により、茶葉の生産性及び品質の向上、生産茶種の多品目化を通じて、同国の茶葉競争力の向上が期待されます。



茶摘みに使用される稼働型摘採機



茶畑にて使用中の様子

本調査を通じて、現地茶葉価格競争力向上を目指した機械導入プロジェクト計画協議、及び具体的な経済効果の数値化を目指します。また、ケニア茶業開発機構の関係者を日本の茶摘み期間に合わせて日本へ招聘し、工場視察、提案製品を使用する茶園視察、及び技術研修を行う予定です。

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、開発途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第1回分は本年2月に公示を行いました。117件の応募のうち35件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考:(プレスリリース)案件化調査2016年度第1回公示の採択結果について

URL:<http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部国際センター 市民参加協力課 吉田、梅村
TEL : 052-533-1387 E-mail : jicacbic-psp@jica.go.jp